



あしたのために

令和3年7月20日
東京都立立川ろう学校長
村野 一臣

高等部3組 校内実習について

高等部3組では、毎年、職業教育の一環として、校内実習（校内における職業体験）を実施しております。今年度は、6月21日（月）～25日（金）までの期間に行いました。

今回は以下の5つの目標を立てて参加しました。

- ①与えられた仕事に責任をもち、やり遂げる力を身に付ける。
- ②作業を一定時間、継続して行える力を身に付ける。
- ③実践的な作業を通して働くことを意識する。
- ④ビジネスマナーの意識の向上を図る。
- ⑤職場実習に向けて自己の課題について考える。

どの目標も大切なものであり、「働くことへの気持ち」をしっかりと高めることができていました。一日の流れも通常と異なり、実際の職場に近いものとなっております。以下はある一日の例です。

○時間	内容
9:40 ~ 9:50	各クラスでの HR
9:55 ~ 11:30	朝礼&作業Ⅰ レザー製品製作 (業務体験アセスメント)
11:30 ~ 11:40	休憩・移動
11:40 ~ 13:10	作業Ⅱ レザー製品製作 (業務体験アセスメント)
13:10 ~ 14:00	昼食・昼休み
14:00 ~ 15:15	作業Ⅲ (レザー製品製作、清掃) (金…片付け・まとめ) ・一日のまとめ (日誌記入含む)
15:20 ~ 15:35	着替え後、各クラスでの HR

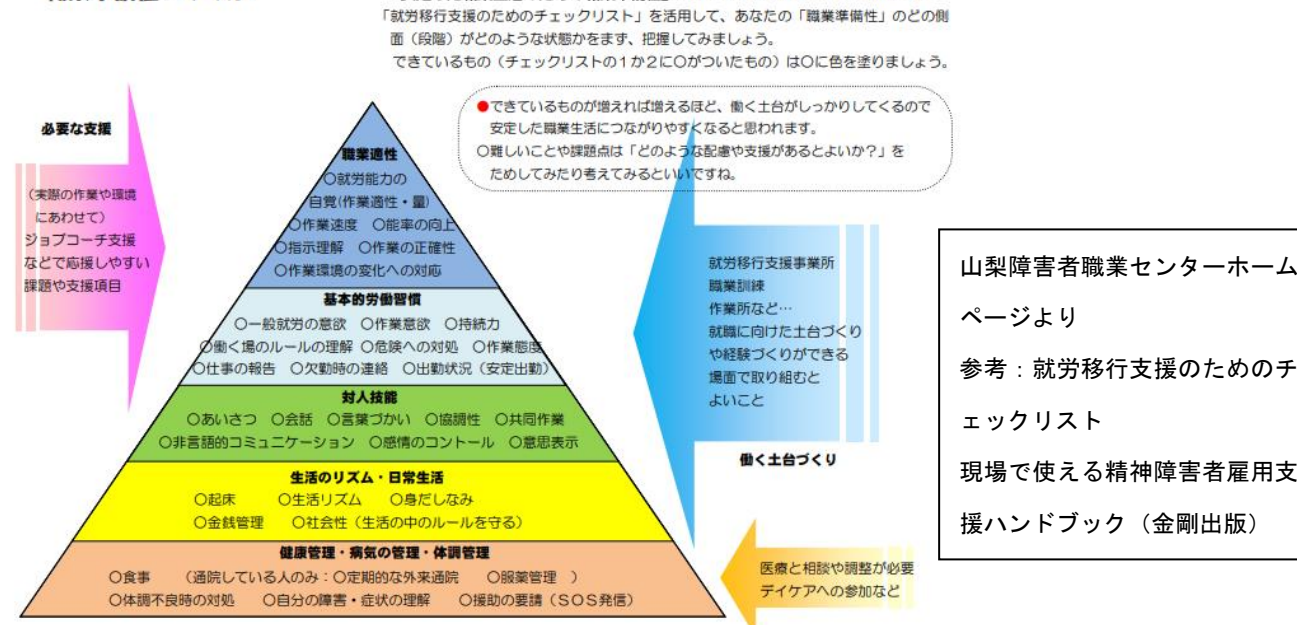


どの職場も多くは、90分を単位として働くこととなります。今回の経験で、集中力の継続や長い時間の活動に見通しをもつことなど、実際に体感することで、この後に控えている現場実習にもスムーズに移行できるようになってきます。

さらに、今年度は、町田市にある就労支援センター「ソラール」様にも御協力いただき、業務体験アセスメントを実施いたしました。実際の企業等で行われている業務を再現し、模擬体験することで、生徒がもっている力や今後に向けての課題、職種や職場環境への適応条件などをアセスメントしました。今回の結果は、後日、本人・保護者の方と面談を行い、進路選択の一助としてフィードバックを行います。

最後に、進路として自己実現を目指していくのであれば、日々の積み重ねがとても大切です。早い段階から自己理解を行い、将来を見据えて力を身に付けていくことが必要です。右上の図は、進路の話をするときに使用されることの多い「職業準備性ピラミッド」です。どんなことを身に付けていくことが必要か参考にしてみてください。

職業準備性ピラミッド



第1回 道徳進路講演会を終えて

中学部は、7月5日（月）に第1回道徳進路講演会を実施しました。この道徳進路講演会は、年に3回実施しております。例年、保護者の方も多数参加されておりますが、コロナ禍の状況のため生徒のみの参加で実施いたしました。

第1回目は、本校高等部の先輩方をお招きし、高等部での学校生活や将来の就職先の展望について話をいただきました。講演者は、専攻科2年生情報ビジネス系1名、専攻科2年生総合技術系1名、高等部3組1名、合計3名です。専攻科の生徒からは、「系で勉強する内容、専攻科を選んだ理由、就職活動」など、3組の生徒からは、「中学時代大切なこと、仕事をするためには」などを話していただきました。生徒はメモを取るなど真剣に聞き、今後の進路に役立てていこうという姿勢が見られました。

今回の生徒の感想は下記のとおりです。御覧ください。

★情報ビジネス系★

- ・苦手教科をそのままにしない。
- ・自分を知ることが大切。・努力が大切。
- ・資格を取ることが大切。
- ・もっと勉強したいときは専攻科に入るといい。
- ・情報に関する知識が身についた。

★総合技術系★

- ・口で言うだけではなく有言実行が大事。
- ・簡単な目標から始めるとよい。
- ・しっかりとコミュニケーションをとる。
- ・報連相（報告、連絡、相談）が大切である。
- ・自分で考えて行動することが大切である。
- ・会社を探すときに一番大切なことは、自分に合う会社を見つけること。
- ・総合技術系：ライフデザイン、情報ビジネス、機械について学ぶことができる。
- ・資格をたくさん取って仕事に生かせるようにする。

★高等部3組★

- ・中学生の時に大切なこと：自分から積極的に行動すること。
- ・仕事に必要なこと：集中力、仲間と協力する、コミュニケーション力、敬語（目上の人と丁寧な言葉遣い）、メモする力（聴者とコミュニケーションをとるため、書いて伝える力が重要になる。）